

メイクセラピー活動報告書【認定講座 提出用】

記入見本

メイクセラピスト 氏名	フリガナ ナカノユカリ	実務経験	TYPE:A	TYPE:B	
	中野 友加里				
実施場所	自宅	実施回数・時間	2 回目 120 分	クライアントの 年齢・職業等	30歳 会社員
メイクセラピー を受けたクライ アントの動機	入社して10年目。年齢よりも5歳くらい若く見られることが多い。仕事場で幼く見られることがイヤ。今月より新入社員研修の指導にあたり、外見が若く見られると頼りない印象を与えてしまいそうと思ったから。仕事ができそうな大人の女性に見えるように印象を変えてみたい。				
クライアント のオーダー	職場の上司や後輩から信頼され、安心して仕事が任せられる大人の女性。				
クライアント の傾向	<p>表情: 表情豊か、笑顔が多い。時々考えながら話す時に眉間にシワが寄る。</p> <p>態度: 身振り手振りが多い。落ち着きなく動く。</p> <p>顔の造形: 本人も言っていた通り、年齢よりも幼く見える。丸顔でパーツバランスは若干、求心。</p> <p>話し方の特徴: 声が高く、舌っ足らず。話すスピードは普通だが、語尾が伸びる。楽しそうに何でも話す。</p>				
オーダー カウンセリング の内容 ※オーダー が決定する までの流れ	<ol style="list-style-type: none"> ①メイクセラピーを受ける動機と目的、期待を聞く ②オーダー「なりたい自分の女性像」を聞く ③なぜその印象になりたいのかを聞く ④会社の中、また他人からどんな印象を持たれていると思うかを聞く。 また、自分が見せたい印象とのギャップ度を聞く。 ⑤なりたい女性になれば、どんな日常に変わるかビジョンを聞く。 ⑥なりたい女性になれば、誰から何と言われたいかを聞く。 ⑦オーダーにタイトルを付ける。「一目置かれる女」 				
メイクセラピー アドバイザー として あなたの 良かった点	<ol style="list-style-type: none"> ①終始一貫して積極的傾聴ができていた。 例：相手のテンションや話すスピードや表情に合わせてペーシングができたと思う。 ②「うん、うん」「そうなんだ」と促したり、感情に共感ができていた。 最初はクライアントが明るく冗談交りに話をしていていたが、中盤頃から徐々に落ち着いたテンションになり、今まで他人にはあまり話した事がなかったという入社時の外見に関するエピソードを話してくれた。徐々に「この人になら話しても大丈夫かな」と思ってもらえる雰囲気や信頼関係が構築できたからだと思う。ビジョンを聞き、誰から何を言われたらうれしいかや何人に言われたいか、タイトルを付ける辺りでは、「絶対に言われたい〜！」とモチベーションがアップしていたと感じた。 ③オーダーをカウンセリングの時に「頼られる女性に見られたい」というクライアントに対して、「頼られる女性とは具体的にどんな女性ですか？どういった言動をしてる女性ですか？」と質問。まだ曖昧だったクライアントのイメージを具体的に明確にしていくきっかけになった。そのあとに「イメージする女性はいますか？」という質問に、女優の〇〇〇さんの名前が挙がり、「その〇〇〇さんから何を感じますか？」と質問。この辺りでイメージが固まり出して、盛り上がった。 ④メイク後に少しフォローカウンセリングができたこと。 セラピストが後輩役になり、普段よりも声のトーンを下げて話すなどオーダーに伴ったコミュニケーションが取れるように会話の練習をした。 その中で自分で思っていた以上にジェスチャーが多いことにクライアントが気付き、落ち着いた大人の女性に見えない理由の一つが見つかったと言って納得していた。 				

この メイクセラピー を終えた感想	<p>まだ質問がワンパターンになりがち。同じ様な質問を繰り返しがちなため、クライアントのイメージを明確にするまでに若干時間が掛かってしまったと反省。もう少し質問の幅を広げられる様に、本などからも勉強する必要がある。</p>
その他 気付いた点	<p>最後に少しフォローカウンセリングで会話のシュミレーションを行った際に、セラピストがクライアントの真似をして見せることを取り入れた。これがインパクトがあったらしく、自分でも普段人から若く見られたり、幼く見られることの理由が顔だけでなく振る舞い方にもあったと気付いたようである。信頼関係がある程度できていたと感じたので、取り入れてみたところ効果があった。今後も外見のイメージとコミュニケーションにギャップがあると感じた場合やクライアントがその印象に見合ったコミュニケーション法がわからなかった場合には取り入れてみたい。</p>

Before

写真貼付欄

※写真裏面に受験者氏名を記入のこと
この貼付欄を多少はみ出てもOKです。

After

写真貼付欄

※写真裏面に受験者氏名を記入のこと
この貼付欄を多少はみ出てもOKです。

メイクセラピー活動報告書【認定講座 提出用】 ※必要数コピーして使用

メイクセラピスト (1級受験者) 氏名	フリガナ	実務経験	TYPE:A TYPE:B	
実施場所		実施回数・時間	回目 分	クライアントの 年齢・職業等
メイクセラピー を受けたクライ アントの動機				
クライアント のオーダー				
クライアント の傾向	表情： 態度： 顔の造形： 話し方の特徴：			
オーダー カウンセリング の内容 ※オーダー が決定する までの流れ				
メイクセラピー アドバイザー として あなたの 良かった点				

この メイクセラピー を終えた感想	
その他 気付いた点	

Before

写真貼付欄

※写真裏面に受験者氏名を記入のこと
この貼付欄を多少はみ出てもOKです。

After

写真貼付欄

※写真裏面に受験者氏名を記入のこと
この貼付欄を多少はみ出てもOKです。